

平成 28 年度事務事業評価表(内部管理業務用)

①事務事業名 事業コード 130102				担当部課	部課コード 出納室 グループ	170200 出納担当	TEL 2998-9227
出納事務							

②業務の内容	総合計画の体系	章	行財政運営	節	財政運営	基本方針	
	目的(何のために行うか、具体的に) 行政サービスを円滑に進めるため、地方自治法及び所沢市会計規則等の関係法規に基づく会計管理者の権限に属する会計事務における出納事務を正確、迅速に行なう。						
	対象(誰を、何を対象としているのか) 公金(歳計現金、歳入歳出外現金)の収入及び支出処理			対象数	単位	平成 26 年度 平成 27 年度	162,073 件 165,869 件
	業務の具体的な内容及び実施方法 収納…指定金融機関等が収納した公金を科目別に仕分けて財務会計システムに入力。収入報告表を作成する。 支払…支払伝票を支払日、支払方法別に整理し、指定金融機関に依頼し債権者に支払う。 収入日計表、支払日計表、現金出納簿等を作成し、帳簿と現金・預金の額を照合して、確認する。						

③経費	「会計種別」	一般会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)
	予算現額		6,100	6,098	6,210
	決 算 (見込み含む)		5,493	5,778	
	(非常勤特別職員) (臨時の任用職員)	(0.00 人) (1.00 人)	(0.00 人) (1.00 人)		
	正規職員人件費	4.90 人	42,733	4.88 人	42,261
	事業費合計		48,226		48,039

④実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標
	収入伝票処理	収入報告表作成件数	件	31,412	33,019	34,000	
	支出伝票処理	支出・払出・還付命令書件数	件	130,661	132,850	135,000	

⑤成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標
	成果指標	適正かつ確実な収納及び支払	件	目標値 162,073	実績 159,119	165,869	169,000
	目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています	%	達成率 98		99	どちらかをチェックしてください

⑥改善点	(1) 平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)			(2) 平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析			
	指定金融機関は2年毎に交替しているが、交替時における事務が様々あることから、チェック表を整備したことや、指定金融機関と綿密な打合せなどを行なったことにより、スムーズに指定金融機関の交替ができた。 また、収納、支払事務においても、マニュアルの見直しを行なった。			振込処理エラーが生じると、債権者への支払いが遅れてしまうことから、各所属に対し指導しているが、振込件数が前年度に比べ約2, 200件増加したことにより、振込処理エラー一件数も約60件増加したため。			

⑦評価	見直しの必要性	コストの見直し <input type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> 少ない <input checked="" type="checkbox"/> ほとんどない	評価理由及び対応策	出納事務については、適性かつ迅速な公金の収納・支払事務に進め、経費の削減に努める。			
	実施過程の見直し	<input type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> 少ない <input checked="" type="checkbox"/> ほとんどない		支払事務については、振込処理エラーの発生件数を抑えるため、各所属担当者へ指導を徹底すると共に、指定金融機関との連携を密接に図っていく。			
⑧環境影響	今後の業務の進め方	支払事務においては、支払準備金の状況を的確に把握し、資金不足が見込まれる際には基金からの繰替運用などの方法により、支払資金を確保する。また、支払時に振込処理エラーが生じないよう、金融機関の統廃合状況を府内ネットワーク上に掲載し、事前に確認できるようにしているが、債権者への口座情報誤りによる振込処理エラーについては、各所属への注意喚起が必要となることから、各所属に対して文書により防止策の徹底について依頼していく。					
	評価日	H28.8.19	評価者職氏名	出納室長 越阪部 一			

⑨環境影響	有益な環境影響		有害な環境影響を及ぼす原因活動	紙の使用	規制を受ける環境法令等	無
					緊急事態	無